

# 新たな採用試験の具体的な内容

平成23年4月

人事院

## 新たな採用試験の具体的な内容

少子化の進展、公務及び公務員に対する批判の影響などにより、公務の人材確保について極めて厳しい状況が続いている中、引き続き行政サービスの基盤を支える優秀かつ多様な人材を確保するためには、各府省と連携した積極的な人材確保活動を推進するとともに、国家公務員制度改革基本法で課題とされている採用試験の基本的な見直しを行うことが喫緊に求められている。

今般の採用試験の見直しに当たっては、

- ・ 能力・実績に基づく人事管理への転換の契機となること
- ・ 新たな人材供給源に対応した試験体系とすること
- ・ 多様な人材の確保に資する試験体系とすること
- ・ 能力実証方法を改善すること
- ・ 中立・公正な試験を確保すること

を基本的な視点としており、その主な内容は、以下のとおりである。

- ・ 現行のⅠ種試験、Ⅱ種試験及びⅢ種試験を廃止し、総合職試験及び一般職試験に再編すること
- ・ 総合職試験に院卒者試験を創設すること
- ・ 専門職試験及び経験者採用試験を創設すること

平成24年度から実施する新たな採用試験の具体的な内容は、以下のとおりであり、今後、学生等への周知を積極的に行うとともに、試験問題の作成など、平成24年度からの実施に向けて、必要な準備を行っていくこととする。

### 1 総合職試験

【政策の企画立案に係る高い能力を有するかどうかを重視して行う係員の採用試験】

#### ① 試験の種類

院卒者試験及び大卒程度試験

#### ② 試験の対象となる官職

係員の官職のうち、主として政策の企画立案等の高度の知識、技術又は経験等を必要とする業務に従事することを職務とする官職

#### ③ 試験区分

<院卒者試験>

行政、人間科学、工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境、法務の9区分

(注1) 「行政」区分は、大卒程度試験における「政治・国際」、「法律」及び「経済」の各試験区分に相応する単一の試験区分である。

(注2) 「法務」区分は、新司法試験合格者を対象とした試験区分である。秋季に実施。

#### <大卒程度試験>

政治・国際、法律、経済、人間科学、工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境、教養の11区分

(注) 「教養」区分は、秋季に実施。

#### ④ 全国試験・地域試験

院卒者試験、大卒程度試験ともに、すべての試験区分について、全国試験として実施する。

#### ⑤ 受験資格

##### <院卒者試験>

###### ○ 法務区分以外の区分

30歳未満の者で次に掲げるもの

i) 大学院修士課程又は専門職大学院専門職学位課程を修了した者及び試験年度の3月までに大学院の修士課程又は専門職大学院の課程を修了する見込みの者

ii) 人事院がi)に掲げる者と同等の資格があると認める者

※ 「同等の資格があると認める者」は、大学院に相当する教育機関の修了者及び修了見込みの者、医学等の6年制学部の卒業生及び卒業見込みの者とする。

###### ○ 法務区分

30歳未満の者で次に掲げるもの

i) 法科大学院の課程を修了した者であって司法試験に合格したもの

ii) 人事院がi)に掲げる者と同等の資格があると認める者

※ 「同等の資格があると認める者」は、司法試験予備試験に合格した者であって司法試験に合格したものとする。

このほか、当分の間、旧司法試験合格者にも受験資格を与えることとする。

##### <大卒程度試験>

i) 21歳以上30歳未満の者

ii) 21歳未満の者で次に掲げるもの

a) 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者

b) 人事院がa)に掲げる者と同等の資格があると認める者

c) 「教養」区分にあつては、a)及びb)に掲げるもののほか、20歳の者

(注) 年齢は、各試験年度の4月1日におけるものとする。(以下同じ)

⑥ 試験種目・試験の方法

別紙1のとおり

⑦ 採用候補者名簿の有効期間

院卒者試験、大卒程度試験ともに、名簿の作成の日から3年とする。

(注) 大卒程度試験の「教養」区分については、大学卒業後に採用が行われることを前提。また、数年間の実施状況を検証しつつ、必要な見直しを行うものとする。

**2 一般職試験**

【的確な事務処理に係る能力を有するかどうかを重視して行う係員の採用試験】

① 試験の種類

大卒程度試験及び高卒者試験

② 試験の対象となる官職

係員の官職のうち、主として事務処理等の定型的な業務に従事することを職務とする官職

③ 試験区分

<大卒程度試験>

行政、電気・電子・情報、機械、土木、建築、物理、化学、農学、農業農村工学、林学の10区分

<高卒者試験>

事務、技術、農業、農業土木、林業の5区分

④ 全国試験・地域試験

大卒程度試験の行政区分、高卒者試験の事務区分・技術区分は地域試験、その他の試験区分は全国試験として実施する。

⑤ 受験資格

<大卒程度試験>

- i) 21歳以上30歳未満の者
- ii) 21歳未満の者で次に掲げるもの
  - a) 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者
  - b) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び試験年度の3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者

<高卒者試験>

- i) 試験年度の4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者及び試験年度の3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- ii) 人事院が i) に掲げる者に準ずると認める者
  - ※ 「準ずると認める者」として、高等学校に相当する教育機関の修了者のほか、試験年度の4月1日において義務教育を終了（中学を卒業）した日から起算して2年以上5年未満の者も含めるものとする。

(注) 年齢は、各試験年度の4月1日におけるものとする。

⑥ 試験種目・試験の方法

別紙2のとおり

⑦ 採用候補者名簿の有効期間

大卒程度試験は名簿の作成の日から3年とする。  
高卒者試験は名簿の作成の日から1年とする。

「社会人試験（係員級）」

以上のほか、採用予定がある場合に、経歴等のいかんにかかわらず受験することのできる試験として、社会人試験（係員級）を実施する。

対象官職：一般職試験の大卒程度試験及び高卒者試験と共通

試験区分：事務、技術、農業、農業土木、林業のうち採用予定のあるもの

全国試験・地域試験：高卒者試験と同じ

受験資格：40歳未満の者（高卒者試験の受験資格の i）の期間を経過した者及び人事院がこれらの者に準ずると認める者に限る。）

試験種目・試験の方法：高卒者試験と同じ

採用候補者名簿の有効期間：名簿の作成の日から1年

### 3 専門職試験

【特定の行政分野に係る専門的な知識を有するかどうかを重視して行う係員の採用試験】

#### ① 試験の種類

(大学卒業程度)

- ア 皇宮護衛官採用試験（大卒程度試験）
- イ 法務省専門職員（人間科学）採用試験
- ウ 外務省専門職員採用試験
- エ 財務専門官採用試験
- オ 国税専門官採用試験
- カ 食品衛生監視員採用試験
- キ 労働基準監督官採用試験
- ク 航空管制官採用試験

(高校卒業程度)

- ケ 皇宮護衛官採用試験（高卒程度試験）
- コ 刑務官採用試験
- サ 入国警備官採用試験
- シ 税務職員採用試験
- ス 航空保安大学校学生採用試験
- セ 海上保安大学校学生採用試験
- ソ 海上保安学校学生採用試験
- タ 気象大学校学生採用試験

#### ② 試験の対象となる官職

①のそれぞれの試験について、以下のとおりとする。

- ア及びケ 皇宮護衛官の官職
- イ 次に掲げるいずれかの官職
  - i) 少年鑑別所における少年の資質の鑑別及び刑事施設における被収容者の資質の調査に関する業務に従事することを職務とする官職
  - ii) 法務教官の官職
  - iii) 保護観察その他更生保護に関する業務に従事することを職務とする官職
- ウ 外務公務員法第二条第五項に規定する外務職員で同項に規定する外交領事事務に従事する者の占める官職のうち、特定の地域若しくは分野に係る高度の専門的知識又は特定の語学に係る高度の能力を用いて業務に従事することを職務とする官職
- エ 財務局における主として国の予算及び決算、国有財産の管理及び処分並びに金融機関等の検査その他の監督に関する業務に従事することを職務とする官職
- オ及びシ 内国税に関する調査若しくは検査又は内国税の賦課及び徴収の業務に従事することを職務とする官職

- カ 検疫所における食品衛生監視員の業務に従事することを職務とする官職
- キ 労働基準監督官の官職
- ク 航空交通管制に関する業務に従事することを職務とする官職
- コ 刑務官の官職
- サ 入国警備官の官職
- ス 航空保安大学校本科学生の官職
- セ 海上保安大学校本科学生の官職
- ソ 海上保安学校本科学生の官職
- タ 気象大学校大学部学生の官職

### ③ 試験区分

- ア 皇宮護衛官採用試験（大卒程度試験）：単一の区分
- イ 法務省専門職員（人間科学）採用試験：
  - 矯正心理専門職A、矯正心理専門職B、法務教官A、法務教官A（社会人）、法務教官B、法務教官B（社会人）、保護観察官の7区分
  - ※Aは男子、Bは女子
- ウ 外務省専門職員採用試験：単一の区分
- エ 財務専門官採用試験：単一の区分
- オ 国税専門官採用試験：単一の区分
- カ 食品衛生監視員採用試験：単一の区分
- キ 労働基準監督官採用試験：労働基準監督A、労働基準監督Bの2区分
  - ※Aは法文系、Bは理工系
- ク 航空管制官採用試験：単一の区分
- ケ 皇宮護衛官採用試験（高卒程度試験）：護衛官、護衛官（社会人）の2区分
- コ 刑務官採用試験：刑務A、刑務A（社会人）、刑務B、刑務B（社会人）、刑務A（武道）、刑務B（武道）の6区分
  - ※Aは男子、Bは女子
- サ 入国警備官採用試験：警備官、警備官（社会人）の2区分
- シ 税務職員採用試験：単一の区分
- ス 航空保安大学校学生採用試験：航空情報科、航空電子科の2区分
- セ 海上保安大学校学生採用試験：単一の区分
- ソ 海上保安学校学生採用試験：船舶運航システム課程、航空課程、情報システム課程、海洋科学課程の4区分
- タ 気象大学校学生採用試験：単一の区分

※ 社会人を対象とした区分は、採用予定がある場合に実施する。

### ④ 全国試験・地域試験

刑務官採用試験（すべての試験区分）及び税務職員採用試験は地域試験、その他の採用試験は全国試験として実施する。

### ⑤ 受験資格

別紙3のとおり

⑥ 試験種目・試験の方法

別紙4のとおり

⑦ 採用候補者名簿の有効期間

国税専門官採用試験及び労働基準監督官採用試験は名簿の作成の日から3年とする。その他の試験は名簿の作成の日から1年とする。

**4 経験者採用試験**

【民間企業等における有為な勤務経験等を有する者を係長以上の職へ採用することを目的として行う中途採用試験】

① 試験の種類

府省別・職制段階別に定める。

＜試験の例＞ 経験者採用試験（係長級）（A省）  
経験者採用試験（課長補佐級）（B省）

② 試験の対象となる官職

係員の官職より上位の職制上の段階に属する官職であって、採用試験ごとに人事院が定める特定の国の機関及び職制上の段階に属するもの又は特定の職制上の段階に属するもの

③ 試験区分

求める専門性等の必要に応じ、試験区分を設ける。

④ 全国試験・地域試験

全国試験として実施することが基本となるものと考えられるが、必要に応じ、地域試験として実施することも可能とする。

⑤ 受験資格

係長級以上の採用であることを踏まえ、大学卒業後5年以上又は高校卒業後9年以上の年数の経過を受験資格とする。

なお、各試験の対象となる官職を踏まえ、必要に応じて年数の上乘せ又は短縮を

行うことや、特定の資格を有すること等を要件とすることも可能とする。

## ⑥ 試験種目・試験の方法

第1次試験では基礎能力試験を、第2次試験では人物試験を必須の試験種目とし、その他の試験種目については、各試験の対象となる官職を踏まえ、別紙5の試験種目の中から、試験ごとに定める。

## ⑦ 採用候補者名簿の有効期間

名簿の作成の日から1年とする。

※ 試験の対象となる官職の詳細、受験資格の詳細（「同等の資格を有すると認める者」等の範囲）、地域試験の地域の範囲など、制度の詳細については、人事院規則8-18（採用試験）及び関係人事院公示等（人事院ホームページ <http://www.jinji.go.jp/kisoku/ichiran.htm>）を参照。

※ 各試験からの採用者の初任給について

新たな採用試験のうち、代表的な試験による採用者の初任給の金額（行政職俸給表（一）が適用される場合）は、以下のとおり。

採用試験の種類	初任給
総合職試験（院卒者試験）	240,000円程度
総合職試験（大卒程度試験）	213,000円程度
一般職試験（大卒程度試験）	203,000円程度
一般職試験（高卒者試験）	165,000円程度
一般職試験（社会人試験（係員級））	165,000円～286,000円程度
専門職試験（大卒程度試験）	203,000円程度
専門職試験（高卒者試験）	156,000円程度 ※

(注) 1 この表は、平成23年4月14日時点において一般職の職員の給与に関する法律に定められている俸給月額に基づき、新たな採用試験採用者の初任給のおおよその金額を掲げたもので、地域手当18%が支給される東京都特別区内に勤務する者で行政職俸給表（一）が適用される場合の例である。

※専門職試験（高卒者試験）については、地域手当12%が支給される地域に勤務する場合の例。

- 2 一般職試験（社会人試験（係員級））による採用者の初任給は、上記の金額の幅の中で採用前の経歴により決定される。
- 3 上記の他、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当・勤勉手当等が支給される。
- 4 独立行政法人等に採用された者には、独立行政法人等が定めた給与が支給される。

※ 各試験の試験日程については、可能な限り早期に別途公表することとする。

以 上

総合職試験の試験種目・試験の方法

		試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容	
院卒者試験	行政 人間科学 工学	第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	30題 2時間20分	2/15	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野24題 文章理解⑧、判断・数的推理(資料解釈を含む。)⑩ 知識分野6題 自然・人文・社会⑥(時事を含む。)
			専門試験 (多肢選択式)	40題 3時間30分	3/15	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験(出題分野は別添のとおり)
		第2次試験	専門試験 (記述式)	【行政区分】 3題 4時間  【その他の区分】 2題 3時間30分	5/15	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験(出題分野は別添のとおり)
	政策課題討議試験		概ね1時間30分程度	2/15	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験(課題に関する資料の中に英文によるものを含む。)  6人1組のグループを基本として実施 レジュメ作成(25分)→個別発表(1人当たり3分)→グループ討議(30分)→討議を踏まえて考えたことを個別発表(1人当たり2分)	
	人物試験			3/15	人柄、对人的能力などについての個別面接(参考として性格検査を実施)	
	第1次試験		基礎能力試験 (多肢選択式)	30題 2時間20分	2/7	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野24題 文章理解⑥、判断・数的推理(資料解釈を含む。)⑩ 知識分野6題 自然・人文・社会⑥(時事を含む。)
	法務	第2次試験	政策課題討議試験	概ね1時間30分程度	2/7	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験  6人1組のグループを基本として実施 レジュメ作成(20分)→個別発表(1人当たり3分)→グループ討議(45分)→討議を踏まえて考えたことを個別発表(1人当たり2分)
			人物試験		3/7	人柄、对人的能力などについての個別面接(参考として性格検査を実施)

		試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容	
大卒程度試験	政治・国際 法律 経済 人間科学 工学 数理学・物理・地球科学 化学・生物・薬学 農業科学・水産 農業農村工学 森林・自然環境	第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 3時間	2/15	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野27題 文章理解①、判断・数的推理(資料解釈を含む。)⑩ 知識分野13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
			専門試験 (多肢選択式)	40題 3時間30分	3/15	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験(出題分野は別添のとおり)
		第2次試験	専門試験 (記述式)	【政治・国際、法律、経済区分】 3題 4時間  【その他の区分】 2題 3時間30分	5/15	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験(出題分野は別添のとおり)
			政策論文試験	1題 2時間	2/15	政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験(資料の中に英文によるものを含む。)
		人物試験		3/15	人柄、对人的能力などについての個別面接(参考として性格検査を実施)	
		教養	第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	I部 24題 2時間 II部 30題 1時間30分	5/28
	総合論文試験			2題 4時間	8/28 (注)	幅広い教養や専門的知識を土台とした総合的な判断力、思考力についての筆記試験 I: 政策の企画立案の基礎となる教養・哲学的な考え方に関するもの 1題 II: 具体的な政策課題に関するもの 1題
	第2次試験		政策課題討議試験	概ね2時間程度	4/28	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験  6人1組のグループを基本として実施 レジュメ作成(20分)→個別発表(1人当たり3分)→グループ討議(45分)→討議を踏まえて考えたことを個別発表(1人当たり2分)
			企画提案試験 (小論文及び口述式)	I部 1題 2時間  II部 1時間	5/28	企画力、建設的な思考力及び説明力などについての試験  I部: 小論文 課題と資料を与え、解決策を提案させる II部: プレゼンテーション及び質疑応答 小論文の内容について試験官に説明、その後質疑応答を受ける
	人物試験		6/28	人柄、对人的能力などについての個別面接(面接参考資料を事前提出、参考として性格検査を実施)		

(注)教養区分については、第1次試験の合格は基礎能力試験の結果によって決定。総合論文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

## 総合職試験における専門試験の出題分野

## 【院卒者試験】

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
行政	<p>次の選択Ⅰ、Ⅱ、Ⅲからいずれかを選択し解答</p> <p>〔選択Ⅰ 政治・国際系〕 48題出題 40題解答</p> <p>必須問題 政治学・国際関係⑩、憲法・行政法⑩、 民法(担保物権、親族及び相続を除く。)③、 経済学・財政学⑥、経済政策③の計32題</p> <p>選択問題 次の選択A、B(各8題)から一つを選択 選択A 政治学・行政学⑧ 選択B 国際関係・国際法⑧</p> <p>〔選択Ⅱ 法律系〕 49題出題 40題解答</p> <p>必須問題 憲法⑦、行政法⑫、民法⑫の計31題</p> <p>選択問題 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥ の18題から任意の計9題解答</p> <p>〔選択Ⅲ 経済系〕 46題出題 40題解答</p> <p>必須問題 経済理論⑯、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、 統計学・計量経済学⑤の計31題</p> <p>選択問題 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、 憲法③、民法(担保物権、親族及び相続を除く。)③ の15題から任意の計9題解答</p>	<p>選択問題 3題</p> <p>次の14科目から3科目選択 政治学、行政学、国際関係、公共政策(2題)、 憲法、行政法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、国際法、 経済理論、財政学、経済政策</p> <p>(注)公共政策を含む選択をする場合にあつては、2科目 又は3科目</p>
人間科学	<p>105題出題 40題解答</p> <p>I 部 5題 人間科学に関する基礎[人間科学における調査・分析に 関する基礎、人間科学における行政的問題を含む。]</p> <p>II 部 15題 次の選択A、B(各15題)から一つを選択 選択A 心理系 人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する 心理学的基礎(心理学史、生理、知覚、学習等)① 心理学における研究方法に関する基礎④ 選択B 教育・福祉・社会系 教育学、福祉及び社会学に関する基礎⑫ 教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する 基礎③</p> <p>III 部 20題 次の14科目(各5題)から4科目を選択し、計20題解答 認知心理学、臨床心理学、教育環境学、 教育心理学、教育経営学、教育方法学、 社会福祉総論、社会福祉各論、福祉計画論、 地域福祉論、社会学(理論)、社会学(各論)、 社会心理学、現代社会論</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の6題から2題選択 心理学に関連する領域②[人間の資質及び行動並 びに人間関係の理解に関する心理学的基礎、 行政的な課題・社会的事象について、心理学的な視 点から論述するもの]、 教育学、福祉及び社会学に関連する領域①、 教育学に関連する領域①、 福祉に関連する領域①、 社会学に関連する領域①</p> <p>(注)同じ領域から2題選択可。</p>

※ 院卒者試験と大卒程度試験の専門試験(多肢選択式、記述式)は、基本的に共通の問題を出題する。

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
工学	<p>165題出題 40題解答</p> <p><b>必須問題</b> 工学に関する基礎[数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等]の計20題</p> <p><b>選択問題</b> 次の29科目(各5題)から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 技術論[技術の歴史、技術と社会との関連、等]、</li> <li>2. 基礎化学、3. 工学基礎実験、4. 情報基礎、</li> <li>5. 電気工学、6. 電磁気学、7. 材料力学[機械系]、</li> <li>8. 流体力学[機械系]、</li> <li>9. 構造力学(土木)・土木材料・土木施工、</li> <li>10. 土質力学・水理学、</li> <li>11. 環境工学(土木)・衛生工学、</li> <li>12. 構造力学(建築)、</li> <li>13. 建築構造・建築材料・建築施工、</li> <li>14. 計測工学・制御工学、</li> <li>15. 情報工学(ハードウェア)、</li> <li>16. 情報工学(ソフトウェア)、17. 電子工学、</li> <li>18. 通信工学、19. 機械力学、</li> <li>20. 熱力学・熱機関[機械系]、21. 土木計画、</li> <li>22. 建築計画・建築法規・建築設備、</li> <li>23. 建築史・都市計画、</li> <li>24. 材料工学(材料科学)[材料物理、材料化学]、</li> <li>25. 材料工学(金属材料・無機材料)、</li> <li>26. 原子力工学(原子核・放射線)、</li> <li>27. 原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)、</li> <li>28. 船舶海洋工学(流体)[船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]、</li> <li>29. 船舶海洋工学(構造)[船体強度・振動、船舶設計・艤装]</li> </ol> <p>(注)8(流体力学[機械系])と10(土質力学・水理学)の同時選択不可。7(材料力学[機械系])と9(構造力学(土木)・土木材料・土木施工)と12(構造力学(建築))の同時選択不可。</p>	<p>選択問題 1題又は2題 次の29科目から出題 解答題数 ア. 1(建築設計)又は2(都市設計)を選択する場合は、その1科目(1題)のみを選択解答 イ. ア以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答 (注)2題以上出題される科目にあつては、そのうち1題のみ選択可。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建築設計①、2. 都市設計①、3. 計測工学①、</li> <li>4. 制御工学②、5. 情報工学(ハードウェア)①～②、</li> <li>6. 情報工学(ソフトウェア)①～②、</li> <li>7. 電磁気学・電気回路①、8. 電気機器①、</li> <li>9. 電力工学①、10. 電子工学①、11. 通信工学①、</li> <li>12. 信頼性工学①、13. 材料力学[機械系]①、</li> <li>14. 機械力学①、15. 流体力学[機械系]①、</li> <li>16. 熱力学・熱機関[機械系]①、17. 航空工学①、</li> <li>18. 構造力学(土木)①、19. 土質力学①、</li> <li>20. 水理学①、21. 土木計画③、</li> <li>22. 環境工学(土木)・衛生工学②、</li> <li>23. 材料工学(材料科学)[材料物理、材料化学]①～②、</li> <li>24. 材料工学(金属材料)①～②、</li> <li>25. 材料工学(無機材料)①、</li> <li>26. 原子力工学(原子核・放射線)①、</li> <li>27. 原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)①～②、</li> <li>28. 船舶海洋工学(流体)[船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]①～②、</li> <li>29. 船舶海洋工学(構造)[船体強度・振動、船舶設計・艤装]①～②</li> </ol> <p>(注1)13(材料力学[機械系])と18(構造力学(土木))の同時選択不可。15(流体力学[機械系])と20(水理学)の同時選択不可。21(土木計画)と22(環境工学(土木)・衛生工学)の同時選択不可。</p> <p>(注2)1(建築設計)及び2(都市設計)は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン(図面及び論述)の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。</p>
数理科学・物理・地球科学	<p>115題出題 40題解答</p> <p><b>I部 5題</b> 基礎数学・情報数学</p> <p><b>II部 10題</b> 次の選択A、B(各10題)から一つを選択 選択A 数理科学系 線形代数、解析、確率・統計 選択B 物理・地球科学系 基礎物理、地球科学</p> <p><b>III部 25題</b> 次の17科目90題のうち任意の計25題解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、 計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、 オペレーションズ・リサーチ、 経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)、物理数学、 古典物理学、現代物理学(物性物理学を含む。)、 地球物理学、地質学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から15題出題、任意の2題選択 代数、幾何、解析、確率・統計⑤、 情報科学①、数学モデル①、 経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)①、 古典物理学、現代物理学(物性物理学を含む。)③、 地球物理学②、地質学②</p> <p>(注)同じ科目から2題選択可。</p>

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
化学・生物・薬学	<p>106題出題 40題解答</p> <p>必須問題 基礎数学、基礎物理、基礎化学、基礎生物学の計10題</p> <p>選択問題 次の16科目(各6題)から5科目又は6科目を選択し、その30～36題のうちから任意の計30題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 数学・物理、2. 基礎物理化学・基礎無機化学、</li> <li>3. 物理化学・無機化学、4. 有機化学、</li> <li>5. 工業化学・化学工学、6. 分析化学・薬化学、</li> <li>7. 薬理学、8. 薬剤学・衛生化学、9. 食品学、</li> <li>10. 土壤肥料学・環境科学・農業、</li> <li>11. 生化学・分子生物学、</li> <li>12. 応用微生物学・生物工学、</li> <li>13. 発生生物学・生理学、</li> <li>14. 細胞生物学(形態学を含む。)・放射線生物学、</li> <li>15. 遺伝学・進化学、</li> <li>16. 生態学(動物行動学を含む。)・系統分類学</li> </ol>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から19題出題、任意の2題選択 物理化学②、無機化学①、有機化学①、分析化学①、化学工学①、薬化学①、薬理学①、薬剤学①、食品学①、土壤肥料学・農業①、生化学①、分子生物学・生物工学①、応用微生物学①、発生生物学①、生理学①、細胞生物学(形態学を含む。)①、遺伝学①、生態学(動物行動学を含む。)①</p> <p>(注)同じ科目から2題選択可。</p>
農業科学・水産	<p>140題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 生物資源に関する基礎[生物資源科学、食料事情、統計学]</p> <p>II部 10題 次の選択A、B(各10題)から一つを選択 選択A 農業科学系 農業科学に関する基礎[農業・畜産業、生物学に関する基礎] 選択B 水産系 水産学に関する基礎</p> <p>III部 25題 次の23科目(各5題)から5科目を選択し、計25題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、</li> <li>4. 植物病理学、5. 昆虫学、</li> <li>6. 土壤肥料学・植物生理学、7. 経済学、</li> <li>8. 農業資源経済学(基礎)、</li> <li>9. 農業資源経済学(応用)、</li> <li>10. 農業経営学、</li> <li>11. 食料政策・農業政策・農業関係法律、</li> <li>12. 家畜育種学、13. 家畜繁殖学、14. 家畜生理学、</li> <li>15. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、</li> <li>16. 畜産一般[畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通]、</li> <li>17. 水産経済学・水産経営学、18. 漁政、</li> <li>19. 漁業学・水産資源学、</li> <li>20. 水産海洋学・水産環境保全、</li> <li>21. 水産生物学・増養殖学、</li> <li>22. 水産化学・水産利用学、</li> <li>23. 水産一般[水産物生産・水産物加工・水産物流通]</li> </ol>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の20科目(各1題)から2科目選択</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、</li> <li>5. 昆虫学、6. 農業資源経済学、7. 農業経営学、</li> <li>8. 食料政策・農業政策、9. 家畜育種学、</li> <li>10. 家畜繁殖学、11. 家畜生理学、</li> <li>12. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、</li> <li>13. 漁業学、14. 水産資源学、15. 水産海洋学、</li> <li>16. 水産環境保全、17. 水産生物学、18. 増養殖学、</li> <li>19. 水産化学、20. 水産利用学</li> </ol>
農業農村工学	<p>76題出題 40題解答</p> <p>必須問題 農業農村工学に関する基礎[農業・農村一般③、農業生産・環境一般②、数学・情報処理③、農業農村工学一般⑥、応用力学④、水理学④]の計22題</p> <p>選択問題 次の9科目(各6題)から3科目を選択し、計18題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 設計・施工、2. 農業水利学、3. 土地改良、</li> <li>4. 農村計画学・公共経済学、5. 農村環境整備、</li> <li>6. 機械基礎工学[機械力学及び機械要素・設計]、</li> <li>7. 生物生産機械工学、</li> <li>8. 食料機械工学・生物生産施設工学、</li> <li>9. 環境調節工学[農業気象学及び生物工学を含む。]</li> </ol>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の9科目(各1題)から2科目選択</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 設計・施工、2. 農業水利学、3. 土地改良、</li> <li>4. 農村計画学、5. 農村環境整備、6. 公共経済学、</li> <li>7. 生物生産機械工学、</li> <li>8. 食料機械工学・生物生産施設工学、</li> <li>9. 環境調節工学[農業気象学及び生物工学を含む。]</li> </ol>

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
森林・自然環境	<p>121題出題 40題解答</p> <p><b>必須問題</b>  森林・自然環境に関する基礎[森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④]の計13題</p> <p><b>選択問題</b>  次の12科目(各9題)から3科目を選択し、計27題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 森林環境科学(森林政策及び林業動向を含む。)</li> <li>2. 森林資源科学(森林立地及び森林保護を含む。)</li> <li>3. 森林生物生産科学(森林経営・育林技術・森林工学)、</li> <li>4. 砂防学基礎、5. 砂防工学、6. 流域管理、</li> <li>7. 造園学原論・造園材料、</li> <li>8. 造園計画(自然公園)[自然環境保全を含む。]、</li> <li>9. 造園計画(都市公園)[都市計画を含む。]、</li> <li>10. 木材特性・木質構造[木材需給を含む。]、</li> <li>11. 木材加工・材質改良、</li> <li>12. 木材成分利用(特用林産を含む。)</li> </ol>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の4科目(各3題)から1科目を選択し、任意の2題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 森林科学に関する基礎、</li> <li>2. 国土保全に関する基礎、</li> <li>3. 自然環境・公園緑地に関する基礎、</li> <li>4. 木材等林産物に関する基礎</li> </ol>

## 【大卒程度試験】

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
政治・国際	<p>48題出題 40題解答</p> <p>必須問題 政治学・国際関係⑩、憲法・行政法⑩、民法(担保物権、親族及び相続を除く。)③、経済学・財政学⑥、経済政策③の計32題</p> <p>選択問題 次の選択A、B(各8題)から一つを選択 選択A 政治学・行政学⑧ 選択B 国際関係・国際法⑧</p>	<p>選択問題 3題</p> <p>次の6科目から3科目選択 政治学、行政学、憲法、国際関係、国際法、公共政策(2題)</p> <p>(注)公共政策を含む選択をする場合にあっては、2科目又は3科目</p>
法律	<p>49題出題 40題解答</p> <p>必須問題 憲法⑦、行政法⑫、民法⑫の計31題</p> <p>選択問題 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の18題から任意の計9題解答</p>	<p>選択問題 3題</p> <p>次の5科目から3科目選択 憲法、行政法、民法、国際法、公共政策</p>
経済	<p>46題出題 40題解答</p> <p>必須問題 経済理論⑯、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計31題</p> <p>選択問題 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法(担保物権、親族及び相続を除く。)③の15題から任意の計9題解答</p>	<p>必須問題 1題 経済理論</p> <p>選択問題 2題 次の3科目から2科目選択 財政学、経済政策、公共政策</p>
人間科学	<p>105題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 人間科学に関する基礎[人間科学における調査・分析に関する基礎、人間科学における行政的問題を含む。]</p> <p>II部 15題 次の選択A、B(各15題)から一つを選択 選択A 心理系 人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎(心理学史、生理、知覚、学習等)⑪ 心理学における研究方法に関する基礎④ 選択B 教育・福祉・社会系 教育学、福祉及び社会学に関する基礎⑫ 教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎③</p> <p>III部 20題 次の14科目(各5題)から4科目を選択し、計20題解答 認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、福祉計画論、地域福祉論、社会学(理論)、社会学(各論)、社会心理学、現代社会論</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の6題から2題選択 心理学に関連する領域②[人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎、行政的な課題・社会的事象について、心理学的な視点から論述するもの]、教育学、福祉及び社会学に関連する領域①、教育学に関連する領域①、福祉に関連する領域①、社会学に関連する領域①</p> <p>(注)同じ領域から2題選択可。</p>

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
工学	<p>165題出題 40題解答</p> <p><b>必須問題</b> 工学に関する基礎[数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等]の計20題</p> <p><b>選択問題</b> 次の29科目(各5題)から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答 1. 技術論[技術の歴史、技術と社会との関連、等]、 2. 基礎化学、3. 工学基礎実験、4. 情報基礎、 5. 電気工学、6. 電磁気学、7. 材料力学[機械系]、 8. 流体力学[機械系]、 9. 構造力学(土木)・土木材料・土木施工、 10. 土質力学・水理学、 11. 環境工学(土木)・衛生工学、 12. 構造力学(建築)、 13. 建築構造・建築材料・建築施工、 14. 計測工学・制御工学、 15. 情報工学(ハードウェア)、 16. 情報工学(ソフトウェア)、17. 電子工学、 18. 通信工学、19. 機械力学、 20. 熱力学・熱機関[機械系]、21. 土木計画、 22. 建築計画・建築法規・建築設備、 23. 建築史・都市計画、 24. 材料工学(材料科学)[材料物理、材料化学]、 25. 材料工学(金属材料・無機材料)、 26. 原子力工学(原子核・放射線)、 27. 原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)、 28. 船舶海洋工学(流体)[船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]、 29. 船舶海洋工学(構造)[船体強度・振動、船舶設計・艙装]</p> <p>(注)8(流体力学[機械系])と10(土質力学・水理学)の同時選択不可。7(材料力学[機械系])と9(構造力学(土木)・土木材料・土木施工)と12(構造力学(建築))の同時選択不可。</p>	<p>選択問題 1題又は2題 次の29科目から出題 解答題数 ア. 1(建築設計)又は2(都市設計)を選択する場合は、その1科目(1題)のみを選択解答 イ. ア以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答 (注)2題以上出題される科目にあつては、そのうち1題のみ選択可。</p> <p>1. 建築設計①、2. 都市設計①、3. 計測工学①、 4. 制御工学②、5. 情報工学(ハードウェア)①～②、 6. 情報工学(ソフトウェア)①～②、 7. 電磁気学・電気回路①、8. 電気機器①、 9. 電力工学①、10. 電子工学①、11. 通信工学①、 12. 信頼性工学①、13. 材料力学[機械系]①、 14. 機械力学①、15. 流体力学[機械系]①、 16. 熱力学・熱機関[機械系]①、17. 航空工学①、 18. 構造力学(土木)①、19. 土質力学①、 20. 水理学①、21. 土木計画③、 22. 環境工学(土木)・衛生工学②、 23. 材料工学(材料科学)[材料物理、材料化学]①～②、 24. 材料工学(金属材料)①～②、 25. 材料工学(無機材料)①、 26. 原子力工学(原子核・放射線)①、 27. 原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)①～②、 28. 船舶海洋工学(流体)[船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]①～②、 29. 船舶海洋工学(構造)[船体強度・振動、船舶設計・艙装]①～②</p> <p>(注1)13(材料力学[機械系])と18(構造力学(土木))の同時選択不可。15(流体力学[機械系])と20(水理学)の同時選択不可。21(土木計画)と22(環境工学(土木)・衛生工学)の同時選択不可。 (注2)1(建築設計)及び2(都市設計)は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン(図面及び論述)の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。</p>
数理科学・物理・地球科学	<p>115題出題 40題解答</p> <p><b>I部 5題</b> 基礎数学・情報数学</p> <p><b>II部 10題</b> 次の選択A、B(各10題)から一つを選択 選択A 数理科学系 線形代数、解析、確率・統計 選択B 物理・地球科学系 基礎物理、地球科学</p> <p><b>III部 25題</b> 次の17科目90題のうち任意の計25題解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、 計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、 オペレーションズ・リサーチ、 経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)、物理数学、 古典物理学、現代物理学(物性物理学を含む。)、 地球物理学、地質学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から15題出題、任意の2題選択 代数、幾何、解析、確率・統計⑤、 情報科学①、数学モデル①、 経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)①、 古典物理学、現代物理学(物性物理学を含む。)③、 地球物理学②、地質学②</p> <p>(注)同じ科目から2題選択可。</p>

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
化学・生物・薬学	<p>106題出題 40題解答</p> <p>必須問題 基礎数学、基礎物理、基礎化学、基礎生物学 の計10題</p> <p>選択問題 次の16科目(各6題)から5科目又は6科目を選択し、 その30～36題のうちから任意の計30題解答 1. 数学・物理、2. 基礎物理化学・基礎無機化学、 3. 物理化学・無機化学、4. 有機化学、 5. 工業化学・化学工学、6. 分析化学・薬化学、 7. 薬理学、8. 薬剤学・衛生化学、9. 食品学、 10. 土壤肥料学・環境科学・農薬、 11. 生化学・分子生物学、 12. 応用微生物学・生物工学、 13. 発生生物学・生理学、 14. 細胞生物学(形態学を含む。・放射線生物学、 15. 遺伝学・進化学、 16. 生態学(動物行動学を含む。・系統分類学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から19題出題、任意の2題選択 物理化学②、無機化学①、有機化学①、 分析化学①、化学工学①、薬化学①、薬理学①、 薬剤学①、食品学①、土壤肥料学・農薬①、 生化学①、分子生物学・生物工学①、 応用微生物学①、発生生物学①、生理学①、 細胞生物学(形態学を含む。)①、遺伝学①、 生態学(動物行動学を含む。)①</p> <p>(注)同じ科目から2題選択可。</p>
農業科学・水産	<p>140題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 生物資源に関する基礎[生物資源科学、食料事情、 統計学]</p> <p>II部 10題 次の選択A、B(各10題)から一つを選択 選択A 農業科学系 農業科学に関する基礎[農業・畜産業、生物学に関する 基礎] 選択B 水産系 水産学に関する基礎</p> <p>III部 25題 次の23科目(各5題)から5科目を選択し、計25題解答 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、 4. 植物病理学、5. 昆虫学、 6. 土壤肥料学・植物生理学、7. 経済学、 8. 農業資源経済学(基礎)、 9. 農業資源経済学(応用)、 10. 農業経営学、 11. 食料政策・農業政策・農業関係法律、 12. 家畜育種学、13. 家畜繁殖学、14. 家畜生理学、 15. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、 16. 畜産一般[畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通]、 17. 水産経済学・水産経営学、18. 漁政、 19. 漁業学・水産資源学、 20. 水産海洋学・水産環境保全、 21. 水産生物学・増養殖学、 22. 水産化学・水産利用学、 23. 水産一般[水産物生産・水産物加工・水産物流通]</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の20科目(各1題)から2科目選択 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、 5. 昆虫学、6. 農業資源経済学、7. 農業経営学、 8. 食料政策・農業政策、9. 家畜育種学、 10. 家畜繁殖学、11. 家畜生理学、 12. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、 13. 漁業学、14. 水産資源学、15. 水産海洋学、 16. 水産環境保全、17. 水産生物学、18. 増養殖学、 19. 水産化学、20. 水産利用学</p>
農業農村工学	<p>76題出題 40題解答</p> <p>必須問題 農業農村工学に関する基礎[農業・農村一般③、農業生 産・環境一般②、数学・情報処理③、農業農村工学一般 ⑥、応用力学④、水理学④]の計22題</p> <p>選択問題 次の9科目(各6題)から3科目を選択し、計18題解答 1. 設計・施工、2. 農業水利学、3. 土地改良、 4. 農村計画学・公共経済学、5. 農村環境整備、 6. 機械基礎工学[機械力学及び機械要素・設計]、 7. 生物生産機械工学、 8. 食料機械工学・生物生産施設工学、 9. 環境調節工学[農業気象学及び生物工学を含む。]</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の9科目(各1題)から2科目選択 1. 設計・施工、2. 農業水利学、3. 土地改良、 4. 農村計画学、5. 農村環境整備、6. 公共経済学、 7. 生物生産機械工学、 8. 食料機械工学・生物生産施設工学、 9. 環境調節工学[農業気象学及び生物工学を含む。]</p>

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
森林・自然環境	<p>121題出題 40題解答</p> <p>必須問題            森林・自然環境に関する基礎[森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④]の計13題</p> <p>選択問題            次の12科目(各9題)から3科目を選択し、計27題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 森林環境科学(森林政策及び林業動向を含む。)</li> <li>2. 森林資源科学(森林立地及び森林保護を含む。)</li> <li>3. 森林生物生産科学(森林経営・育林技術・森林工学)、</li> <li>4. 砂防学基礎、5. 砂防工学、6. 流域管理、</li> <li>7. 造園学原論・造園材料、</li> <li>8. 造園計画(自然公園)[自然環境保全を含む。]、</li> <li>9. 造園計画(都市公園)[都市計画を含む。]、</li> <li>10. 木材特性・木質構造[木材需給を含む。]、</li> <li>11. 木材加工・材質改良、</li> <li>12. 木材成分利用(特用林産を含む。)</li> </ol>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の4科目(各3題)から1科目を選択し、任意の2題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 森林科学に関する基礎、</li> <li>2. 国土保全に関する基礎、</li> <li>3. 自然環境・公園緑地に関する基礎、</li> <li>4. 木材等林産物に関する基礎</li> </ol>

一般職試験の試験種目・試験の方法

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率		内容
			建築以外 の区分	建築区分	
大卒程度試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	2/9	2/9	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野27題 文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③ 知識分野13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
	専門試験 (多肢選択式)	【建築区分】 33題 2時間	4/9	2.5/9	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験(出題分野は別添のとおり)
		【建築以外の区分】 40題 3時間			
	一般論文試験 【行政区分】	1題 1時間	1/9 (注)	—	文章による表現力、課題に関する理解力などについての短い論文による筆記試験
	専門試験 (記述式) 【行政以外の区分】	【建築区分】 1題 2時間	—	2.5/9 (注)	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験(出題分野は別添のとおり)
【建築以外の区分】 1題 1時間		1/9 (注)	—		
第2次試験	人物試験		2/9	2/9	人柄、对人的能力などについての個別面接(参考として性格検査を実施)

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)の結果によって決定。一般論文試験又は専門試験(記述式)は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率		内容	
			事務区分	事務以外 の区分		
高卒者試験 社会人試験 (係員級)	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	4/9	2.3/9	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥	
	第1次試験	適性試験 (多肢選択式) 【事務区分】	120題 15分	2/9	—	速く正確に事務処理を行う能力についての筆記試験 置換・照合・計算・分類などの比較的簡単な問題を限られた時間内に番号順にできるだけ多く解答するスピード検査
		専門試験 (多肢選択式) 【事務以外の区分】	40題 1時間40分	—	4.7/9	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験(出題分野は別添のとおり)
		作文試験 【事務区分】	1題 50分	1/9 (注)	—	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
	第2次試験	人物試験		2/9	2/9	人柄、对人的能力などについての個別面接(参考として性格検査を実施)

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験及び適性試験又は専門試験(多肢選択式)の結果によって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

## 一般職試験における専門試験の出題分野

## 【大卒程度試験】

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
行政	80題出題 40題解答 次の16科目(各5題)から8科目を選択し、計40題解答 政治学、行政学、憲法、行政法、民法(総則及び物権)、 民法(債権、親族及び相続)、ミクロ経済学、マクロ経済学、 財政学・経済事情、経営学、国際関係、社会学、心理学、 教育学、英語(基礎)、英語(一般)	
電気・電子・情報	40題出題 40題解答 工学に関する基礎⑩、 電磁気学・電気回路・電気計測・制御・電気機器・電力工学⑧、 電子工学・電子回路③、通信工学・情報工学⑨	必須問題 1題 電気・電子・通信・情報工 学に関連する領域
機械	40題出題 40題解答 工学に関する基礎⑩、 材料力学④、機械力学④、流体力学④、熱工学④、 機械設計・機械材料・機械工作④	必須問題 1題 機械工学に関連する領域
土木	40題出題 40題解答 工学に関する基礎⑩、 構造力学(土木)・水理学・土質力学・測量⑪、土木材料・土木設計・土木施工③、 土木計画④、環境工学(土木)・衛生工学②	必須問題 1題 土木工学に関連する領域
建築	33題出題 33題解答 工学に関する基礎⑩、 構造力学(建築)・建築構造④、建築材料・建築施工②、 環境工学(建築)・建築設備③、建築史・建築計画・建築法規・都市計画④	必須問題 1題 建築設計製図
物理	50題出題 40題解答 必須問題 物理[物理数学を含む基礎的な物理] ⑩ 選択問題 応用物理[現代物理等]⑩、地球物理⑩の20題から10題選択	必須問題 1題 物理に関連する領域
化学	44題出題 40題解答 必須問題 数学・物理⑨、物理化学・分析化学・無機化学・有機化学・工業化学⑦ 選択問題 生物化学④、化学工学④の8題から4題選択	必須問題 1題 化学に関連する領域
農学	40題出題 40題解答 栽培学汎論⑦、作物学⑦、園芸学⑦、育種遺伝学③、植物病理学③、昆虫学③、 土壌肥料学・植物生理学④、畜産一般③、農業経済一般③	必須問題 1題 農学に関連する領域
農業農村工学	40題出題 40題解答 数学③、水理学④、応用力学④、土壌物理・土質力学②、測量②、 農業水利学・土地改良・農村環境整備⑬、農業造構・材料・施工⑦、 農業機械②、農学一般③	必須問題 1題 農業農村工学に関連する 領域
林学	40題出題 40題解答 林業政策⑦、林業経営学⑦、造林学⑪、林業工学④、林産一般⑥、砂防工学⑤	必須問題 1題 林学に関連する領域

## 【高卒者試験】

試験区分	専門試験(多肢選択式)
技術	<p>100題出題 40題解答</p> <p>I部 20題 数学・物理・情報</p> <p>II部 20題 次の選択A～D(各20題)から一つを選択</p> <p>選択A 電気・情報系 電気基礎・電子技術・電子回路・電気機器・電力技術・電子計測制御⑩、 通信技術・電子情報技術・プログラミング技術・ハードウェア技術・ ソフトウェア技術・マルチメディア応用⑩</p> <p>選択B 機械系 機械工作⑥～⑧、機械設計⑥～⑧、原動機②、 生産システム技術・電子機械・電気基礎③～⑤</p> <p>選択C 土木系 測量②～③、土木施工③～④、土木基礎力学⑦～⑨、土木構造設計②～③、 社会基盤工学③～④</p> <p>選択D 建築系 建築構造⑥、建築施工②、建築構造設計②、建築計画・建築法規⑩</p>
農業	<p>40題出題 40題解答</p> <p>作物⑩、野菜・果樹・草花・植物バイオテクノロジー⑩、農業科学基礎⑦、 農業機械・農業情報処理⑤、畜産④、農業経営・農業経済④</p>
農業土木	<p>40題出題 40題解答</p> <p>農業土木設計⑮、農業土木施工⑭、測量④、環境科学基礎・農業情報処理⑦</p>
林業	<p>40題出題 40題解答</p> <p>森林経営⑩、森林科学⑯、測量②、林産加工・植物バイオテクノロジー⑥、 環境科学基礎・農業情報処理⑥</p>

## 専門職試験の受験資格

(大学卒業程度)

試験の種類	試験区分	受験資格
皇宮護衛官採用試験（大卒程度試験）	—	i) 21歳以上30歳未満の者 ii) 21歳未満の者で次に掲げるもの ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者 イ 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び試験年度の3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者
法務省専門職員（人間科学）採用試験	矯正心理専門職A	i) 21歳以上30歳未満の男子 ii) 21歳未満の男子で次に掲げるもの ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者 イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者
	矯正心理専門職B	i) 21歳以上30歳未満の女子 ii) 21歳未満の女子で次に掲げるもの ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者 イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者
法務教官	A	i) 21歳以上30歳未満の男子 ii) 21歳未満の男子で次に掲げるもの ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者 イ 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び試験年度の3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者
	B	i) 21歳以上30歳未満の女子 ii) 21歳未満の女子で次に掲げるもの ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者 イ 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び試験年度の3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者
法務教官A（社会人）		40歳未満の男子（法務教官Aのi）の受験資格を有しなくなった者に限る。）
法務教官B（社会人）		40歳未満の女子（法務教官Bのi）の受験資格を有しなくなった者に限る。）
保護観察官		i) 21歳以上30歳未満の者 ii) 21歳未満の者で次に掲げるもの ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者 イ 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び試験年度の3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者

外務省専門職員採用試験	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>i) 21歳以上30歳未満の者</li> <li>ii) 21歳未満の者で次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者</li> <li>イ 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び試験年度の3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者</li> </ul> </li> </ul>
財務専門官採用試験	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>i) 21歳以上30歳未満の者</li> <li>ii) 21歳未満の者で次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者</li> <li>イ 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び試験年度の3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者</li> </ul> </li> </ul>
国税専門官採用試験	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>i) 21歳以上30歳未満の者</li> <li>ii) 21歳未満の者で次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者</li> <li>イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者</li> </ul> </li> </ul>
食品衛生監視員採用試験	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>i) 21歳以上30歳未満の者で、次に掲げる者 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 大学において薬学、畜産学、水産学又は農芸化学の課程を修めて卒業した者及び試験年度の3月までに当該課程を修めて大学を卒業する見込みの者</li> <li>イ 厚生労働大臣の登録を受けた食品衛生監視員の養成施設において所定の課程を修了した者及び試験年度の3月までに当該課程を修了する見込みの者</li> </ul> </li> <li>ii) 21歳未満の者で次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>ア i) のアに掲げる者</li> <li>イ 厚生労働大臣の登録を受けた食品衛生監視員の養成施設において所定の課程を修了した者又は試験年度の3月までに修了する見込みの者であつて、大学を卒業したもの及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者</li> <li>ウ 人事院がア又はイに掲げる者と同等の資格があると認める者</li> </ul> </li> </ul>
労働基準監督官採用試験	労働基準監督A 労働基準監督B	<ul style="list-style-type: none"> <li>i) 21歳以上30歳未満の者</li> <li>ii) 21歳未満の者で次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者</li> <li>イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者</li> </ul> </li> </ul>
航空管制官採用試験	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>i) 21歳以上30歳未満の者</li> <li>ii) 21歳未満の者で次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者</li> <li>イ 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び試験年度の3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者</li> </ul> </li> </ul>

## (高校卒業程度)

試験の種類	試験区分	受験資格
皇宮護衛官採用試験 (高卒程度試験)	護衛官	i) 試験年度の4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日から起算して5年を経過していない者及び試験年度の3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者 ii) 人事院がi)に掲げる者に準ずると認める者
	護衛官 (社会人)	40歳未満の者(護衛官のi)の期間が経過した者及び人事院がこれらの者に準ずると認める者に限る。)
刑務官採用試験	刑務A 刑務A(武道)	17歳以上29歳未満の男子
	刑務B 刑務B(武道)	17歳以上29歳未満の女子
	刑務A(社会人)	40歳未満の男子(刑務A、刑務A(武道)の受験資格を有しなくなった者に限る。)
	刑務B(社会人)	40歳未満の女子(刑務B、刑務B(武道)の受験資格を有しなくなった者に限る。)
入国警備官採用試験	警備官	i) 試験年度の4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日から起算して5年を経過していない者及び試験年度の3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者 ii) 人事院がi)に掲げる者に準ずると認める者
	警備官(社会人)	40歳未満の者(警備官のi)の期間が経過した者及び人事院がこれらの者に準ずると認める者に限る。)
税務職員採用試験	—	i) 試験年度の4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日から起算して3年を経過していない者及び試験年度の3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者 ii) 人事院がi)に掲げる者に準ずると認める者
航空保安大学校学生採用試験	航空情報科 航空電子科	i) 試験年度の4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日から起算して3年を経過していない者及び試験年度の3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者 ii) 人事院がi)に掲げる者と同等の資格があると認める者
海上保安大学校学生採用試験	—	i) 試験年度の4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日から起算して2年を経過していない者及び試験年度の3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者 ii) 人事院がi)に掲げる者と同等の資格があると認める者
海上保安学校学生採用試験	船舶運航システム課程 航空課程 情報システム課程 海洋科学課程	i) 試験年度の4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日から起算して5年(採用試験が同一年度に二回行われる場合における初回の採用試験については、6年)を経過していない者及び試験年度の3月(採用試験が同一年度に二回行われる場合における初回の採用試験については、9月)までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

		ii) 人事院が i) に掲げる者と同等の資格があると認める者
気象大学校学生採用試験	—	i) 試験年度の4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日から起算して2年を経過していない者及び試験年度の3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者 ii) 人事院が i) に掲げる者と同等の資格があると認める者

※ 皇宮護衛官採用試験（高卒程度試験）、入国警備官採用試験及び税務職員採用試験における「準ずると認める者」として、高等学校に相当する教育機関の卒業者のほか、中学卒業後一定期間内の者も含めるものとする。

## 専門職試験の試験種目・試験の方法

## ○ 皇宮護衛官採用試験(大卒程度試験)

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	3/5	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野27題 文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③ 知識分野13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
	課題論文試験	2題 3時間	2/5	文章による表現力、課題に対する理解力・判断力・思考力などについての筆記試験 ○ 時事的な問題に関するもの 1題 ○ 具体的な事例課題により、皇宮護衛官として必要な判断力・思考力を問うもの 1題
第2次試験	人物試験		*	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*	身長、体重、視力、色覚についての測定
	体力検査		*	上体起こし、立ち幅跳び、反復横跳びによる身体の筋持久力等についての検査

※ 配点比率の\*印は、合否の判定のみを行うものを示す。(以下同じ)

○ 法務省専門職員(人間科学)採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率		内容
			矯正心理専門職区分	その他の区分	
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	2/11	2/10	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野27題 文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③ 知識分野13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
	専門試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	3/11	3/10	法務省専門職員(人間科学)として必要な専門的知識などについての筆記試験 【矯正心理専門職区分】 60題出題 40題解答 必須問題 心理学に関連する領域⑳ 選択問題 次の40題から任意の計20題選択 心理学、教育学、福祉及び社会学に関する基礎 [心理学⑩、教育学⑩、福祉⑩、社会学⑩]  【法務教官区分、保護観察官区分】 40題出題 40題解答 心理学、教育学、福祉及び社会学に関する基礎 [心理学⑩、教育学⑩、福祉⑩、社会学⑩]
	専門試験 (記述式)	1題 1時間45分	3/11 (注)	3/10 (注)	法務省専門職員(人間科学)として必要な専門的知識などについての筆記試験 【矯正心理専門職区分】 心理学に関連する領域 1題 【法務教官区分、保護観察官区分】 選択問題 次の領域から1題ずつ計4題出題、任意の1題選択 心理学に関連する領域、教育学に関連する領域、福祉に関連する領域、社会学に関連する領域
第2次試験	人物試験		3/11	2/10	人柄、对人的能力などについての個別面接(矯正心理専門職区分:心理臨床場面において必要になる判断力等についての質問も含む。) (参考として性格検査を実施)
	身体検査 【矯正心理専門職区分、法務教官区分】		*	*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、眼・聴器その他一般内科系検査
	身体測定 【矯正心理専門職区分、法務教官区分】		*	*	視力についての測定

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)の結果によって決定。専門試験(記述式)は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

○ 外務省専門職員採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	1/13	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野27題 文章理解⑪、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③ 知識分野13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
	専門試験 (記述式)	憲法 2時間  国際法 2時間  経済学 2時間	3/13	選択問題 次の3科目(各3題)から、科目ごとに任意の2題を選択し、計6題 解答 憲法、国際法、経済学
	外国語試験 (記述式)	4題 2時間	2/13	和文外国語訳2題及び外国語和訳2題  英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、オランダ語、アラビア語、ペルシャ語、ウルドゥ語、ヒンディー語、ミャンマー語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、中国語、朝鮮語から1箇国語を選択
	時事論文試験	1題 1時間30分	1/13	時事問題についての筆記試験
第2次試験	人物試験		5/13	人柄、对人的能力などについての個別面接及びグループ討議 (個別面接の参考として性格検査を実施)
	外国語試験 (面接)		1/13	英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、オランダ語、アラビア語、ペルシャ語、ウルドゥ語、ヒンディー語、ミャンマー語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、中国語、朝鮮語から1箇国語を選択
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査

○ 財務専門官採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	2/9	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野27題 文章理解⑪、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③ 知識分野13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
	専門試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	3/9	財務専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験 必須問題 次の2科目(28題) 憲法・行政法、経済学・財政学・経済事情 選択問題 次の8科目(各6題)から2科目を選択し、計12題解答 民法・商法、統計学、 政治学・社会学、会计学(簿記を含む。)、経営学、英語、 情報数学、情報工学
	専門試験 (記述式)	1題 1時間20分	2/9 (注)	財務専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験 選択問題 次の5科目(各1題)のうち1科目選択 憲法、民法、経済学、財政学、会计学
第2次試験	人物試験		2/9	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)の結果によって決定。専門試験(記述式)は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

○ 国税専門官採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	2/9	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野27題 文章理解⑪、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③ 知識分野13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
	専門試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	3/9	国税専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験 必須問題 次の2科目(16題) 民法・商法、会计学(簿記を含む。) 選択問題 次の9科目(各6題)から4科目を選択し、計24題解答 憲法・行政法、経済学、財政学、経営学、 政治学・社会学・社会事情、英語、 商業英語、情報数学、情報工学
	専門試験 (記述式)	1題 1時間20分	2/9 (注)	国税専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験 選択問題 次の5科目(各1題)のうち1科目選択 憲法、民法、経済学、会计学、社会学
第2次試験	人物試験		2/9	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、尿、その他一般内科系検査

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)の結果によって決定。専門試験(記述式)は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

○ 食品衛生監視員採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	1/4	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野27題 文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③ 知識分野13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
	専門試験 (記述式)	3題 1時間40分	2/4	食品衛生監視員として必要な専門的知識などについての筆記試験  選択問題 3題 分析化学①又は食品化学①のいずれか1題選択 微生物学①又は毒性学①のいずれか1題選択 公衆衛生学①又は食品衛生学①のいずれか1題選択
第2次試験	人物試験		1/4	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)

○ 労働基準監督官採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	2/7	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野27題 文章理解⑪、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③ 知識分野13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
	専門試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	3/7	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験  【労働基準監督A】 48題出題 40題解答 必須問題 労働法⑦、労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係)⑤の計12題 選択問題 次の36題から28題選択 憲法・行政法・民法・刑法⑯、 経済学・労働経済・社会保障・社会学⑳
	専門試験 (記述式)	2題 2時間	2/7 (注)	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験  【労働基準監督A】 2題出題 2題解答 労働法 1題、 労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係) 1題  【労働基準監督B】 4～6題出題 2題解答 必須問題 工業事情 1題 選択問題 工学に関する専門基礎(機械系、電気系、土木系、建築系、衛生・環境系、応用化学系、応用数学系、応用物理系等の工学系の専門工学に関する専門基礎分野)から3～5題出題し、うち1題選択
第2次試験	人物試験		*	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*	視力、聴力についての測定

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)の結果によって決定。専門試験(記述式)は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

○ 航空管制官採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	2/11	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野27題 文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③ 知識分野13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
	適性試験 (多肢選択式)	60題 45分	2/11	航空管制官として必要な記憶力、空間把握力についての筆記試験 ○ 記憶についての検査 (示された図や記号、数値などを記憶するもの)⑮ ○ 空間関係についての検査 (空間的な方向や移動などの状態を判断するもの)④
	外国語試験 (多肢選択式)	30題 2時間	3/11	英文解釈、和文英訳、英文法についての筆記試験
第2次試験	外国語試験 (聞き取り)	/	1/11	英語のヒアリング
	外国語試験 (面接)	/	1/11	英会話
	人物試験	/	2/11	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査	/	*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定	/	*	視力、色覚、聴力についての測定

○ 皇宮護衛官採用試験(高卒程度試験)

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	(注)	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	作文試験	1題 50分		文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
第2次試験	人物試験	/		人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査	/		主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定	/		身長、体重、視力、色覚についての測定
	体力検査	/	上体起こし、立ち幅跳び、反復横跳びによる身体の筋持久力等についての検査	

(注) 第1次試験の合格は基礎能力試験の結果によって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。基礎能力試験は成績を得点化するが、その他の試験種目については、合否の判定のみを行う。

○ 刑務官採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率		内容
			警備官 区分	警備官 (社会人)区分	
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	(注)	4/7	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	作文試験	1題 50分		1/7 (注)	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
	実技試験 【刑務A・B(武道)のみ】			(注)	柔道又は剣道の実技に関する試験
第2次試験	人物試験		2/7		人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査		*		主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*		身長、体重、視力についての測定
	体力検査 【刑務A・B(武道)以外】		*		上体起こし、立ち幅跳び、反復横跳びによる身体の筋持久力等についての検査

(注) 刑務A・B(武道)以外の区分においては、第1次試験の合格は基礎能力試験の結果によって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

刑務A・B(武道)区分においては、第1次試験の合格は基礎能力試験の結果に実技試験の結果に応じた一定の加点を行うことによって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

○ 入国警備官採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率		内容
			警備官 区分	警備官 (社会人)区分	
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	(注)	4/7	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	作文試験	1題 50分		1/7 (注)	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
第2次試験	人物試験		2/7		人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査		*		主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*		身長、体重、視力、色覚についての測定
	体力検査		*		上体起こし、立ち幅跳びによる身体の筋持久力等についての検査

(注) 警備官区分においては、第1次試験の合格は基礎能力試験の結果によって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。基礎能力試験は成績を得点化するが、その他の試験種目については、合否の判定のみを行う。警備官(社会人)区分においては、第1次試験の合格は基礎能力試験の結果によって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

○ 税務職員採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	2/3	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	適性試験 (多肢選択式)	120題 15分	1/3	速く正確に事務処理を行う能力についての筆記試験 置換・照合・計算・分類などの比較的簡単な問題を限られた時間内に番号順にできるだけ多く解答するスピード検査
	作文試験	1題 50分	* (注)	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
第2次試験	人物試験	/	*	人柄、対人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査	/	*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、尿、その他一般内科系検査

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験及び適性試験の結果によって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

○ 航空保安大学校学生採用試験

【航空情報科】

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	1/4	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	学科試験 (多肢選択式)	26題 2時間	2/4	数学及び英語についての筆記試験  数学 13題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトルの分野に限る。)  英語 13題 英語Ⅰ、英語Ⅱ
第2次試験	人物試験	/	1/4	人柄、対人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査	/	*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定	/	*	色覚、聴力についての測定

○ 航空保安大学校学生採用試験(続き)

【航空電子科】

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	1/4	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	学科試験 (多肢選択式)	26題 2時間	2/4	数学及び物理についての筆記試験  数学 13題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトルの分野に限る。)  物理 13題 物理Ⅰ
第2次試験	人物試験		1/4	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*	色覚についての測定

○ 海上保安大学校学生採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	3/10	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	学科試験 (多肢選択式)	39題 3時間	3/10	数学、英語、物理又は化学についての筆記試験  必須問題 数学 13題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトルの分野に限る。) 英語 13題 英語Ⅰ、英語Ⅱ  選択問題 13題 物理Ⅰ又は化学Ⅰのいずれか1科目選択
	学科試験 (記述式)	数学 1時間20分  英語 1時間20分  物理又は化学 1時間20分	3/10	数学、英語、物理又は化学についての筆記試験  必須問題 数学 3～6題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトルの分野に限る。) 英語 2～3題 英語Ⅰ、英語Ⅱ  選択問題 物理Ⅰ(2～4題)又は化学Ⅰ(2～4題)のいずれか1科目選択
	作文試験	1題 50分	* (注)	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
第2次試験	人物試験	/	1/10	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査	/	*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定	/	*	身長、体重、視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査	/	*	上体起こし、反復横跳び、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験、学科試験(多肢選択式)及び学科試験(記述式)の結果によって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

○ 海上保安学校学生採用試験

【船舶運航システム課程】

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	3/4	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	作文試験	1題 50分	* (注)	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
第2次試験	人物試験	/	1/4	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査	/	*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定	/	*	身長、体重、視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査	/	*	上体起こし、反復横跳び、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験の結果によって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

【航空課程】

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	3/8	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	学科試験 (多肢選択式)	39題 3時間	3/8	数学、英語及び物理についての筆記試験  数学 13題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトルの分野に限る。) 英語 13題 英語Ⅰ、英語Ⅱ 物理 13題 物理Ⅰ
第2次試験	身体検査	/	*	一般検査、呼吸器系検査、循環器系検査、消化器系検査(口腔及び歯牙を除く。)、血液及び造血臓器検査、腎臓、泌尿器系及び生殖器系検査、運動器系検査、眼検査、視機能検査、耳鼻咽喉検査、口腔及び歯牙検査、総合検査
	身体測定	/	*	身長、体重、胸囲、視力、色覚、聴力、肺活量についての測定
	体力検査	/	*	上体起こし、反復横跳び、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査
第3次試験	人物試験	/	2/8	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	適性検査	/	*	模擬飛行装置を使用しての操縦検査
	身体検査	/	*	精神及び神経系検査

○ 海上保安学校学生採用試験(続き)

【情報システム課程】

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	3/8	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	学科試験 (多肢選択式)	26題 2時間	3/8	数学及び英語についての筆記試験  数学 13題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトルの分野に限る。) 英語 13題 英語Ⅰ、英語Ⅱ
第2次試験	人物試験		2/8	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*	身長、体重、視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査		*	上体起こし、反復横跳び、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査

【海洋科学課程】

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	3/8	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	学科試験 (多肢選択式)	39題 3時間	3/8	数学、英語及び物理についての筆記試験  数学 13題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトルの分野に限る。) 英語 13題 英語Ⅰ、英語Ⅱ 物理 13題 物理Ⅰ
第2次試験	人物試験		2/8	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*	視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査		*	鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査

○ 海上保安学校学生採用試験(特別)

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	3/4	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	作文試験	1題 50分	* (注)	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
第2次試験	人物試験		1/4	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*	身長、体重、視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査		*	上体起こし、反復横跳び、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験の結果によって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

○ 気象大学校学生採用試験

	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	3/12	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥
	学科試験 (多肢選択式)	39題 3時間	3/12	数学、英語及び物理についての筆記試験  数学 13題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトルの分野に限る。) 英語 13題 英語Ⅰ、英語Ⅱ 物理 13題 物理Ⅰ
	学科試験 (記述式)	数学 1時間20分  物理 1時間20分 英語 1時間20分	6/12	数学、英語及び物理についての筆記試験  数学 2～5題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、 数学B(数列、ベクトルの分野に限る。)、 数学C(行列とその応用、式と曲線の分野に限る。) 物理 2～5題 物理Ⅰ、物理Ⅱ 英語 2～3題 英語Ⅰ、英語Ⅱ
	作文試験	1題 50分	* (注)	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
第2次試験	人物試験		*	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、その他一般内科系検査

(注)第1次試験の合格は基礎能力試験、学科試験(多肢選択式)及び学科試験(記述式)の結果によって決定。作文試験は第1次試験合格者を対象として評定した上で、最終合格者の決定に反映。

## 経験者採用試験の試験種目・試験の方法

	試験種目	解答題数 解答時間	内容
必須の試験種目	第1次試験 基礎能力試験 (多肢選択式)	30題 2時間20分	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験  知能分野24題 文章理解⑧、判断・数的推理(資料解釈を含む。)⑩ 知識分野6題 自然・人文・社会⑥(時事を含む。)
	第2次試験 人物試験		人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として性格検査を実施)
試験ごとに選択される試験種目	政策課題討議試験	概ね1時間30分程度	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験  6人1組のグループを基本として実施 レジュメ作成(20分)→個別発表(1人当たり3分)→ グループ討議(30分)→討議を踏まえて考えたことを 個別発表(1人当たり2分)
	政策論文試験	1題 2時間	政策上の課題を理解し、解決策を企画立案する能力などについての筆記試験
	総合事例研究試験 (記述式)	1題 1時間	具体的な事例課題における判断力、決断力、洞察力などについての筆記試験
	一般論文試験	1題 1時間	対象となる官職の職務に関連する知識、文章による表現力、課題に関する理解力その他の能力についての筆記試験
	専門試験 (記述式)		各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
	外国語試験		対象となる官職の職務に必要な語学力についての筆記試験(外国語和訳、和文外国語訳)、外国語会話
	経験論文試験	1題 1時間30分	勤務経験等に関する論文により職務遂行に必要な能力を有しているかどうかを判断する試験
	総合評価面接試験		対象となる官職に必要とされる適性についての個別面接による試験

※ 第1次試験では基礎能力試験を、第2次試験では人物試験を必須の試験種目とし、その他の試験種目については、各試験の対象となる官職を踏まえ、上記の試験種目の中から、試験ごとに定める。  
試験種目ごとの配点比率についても、試験ごとに定める。